

Rotary International  
2009~2010



ロータリーの未来は  
あなたの手の中に

# 中村ロータリークラブ

週報(2009~2010)

会 長/佐 竹 義 典	創 立/昭 和 3 8 年 1 0 月 2 日
幹 事/荒 井 淨	例会日/水曜日 12:30~13:30
会報委員長/黒 石 伸 二	例会場/新ロイヤルホテル四万十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
	TEL(0880)35-4551 FAX(0880)35-4553
	●ホームページ <a href="http://www.nakamura-rc.com/">http://www.nakamura-rc.com/</a>

週報 No.2135

第2266回 平成21年9月2日(晴れ)

本日のプログラム: 小池 雄一 会員 「新型インフルエンザ」

9月9日のプログラム: ゲストスピーチ 佐竹 将太郎様、神原奈甫様

9月16日のプログラム: 美化ゾーン例会

## 【会長挨拶】 佐竹会長

- ・先週の岡内ガバナー公式訪問例会を無事終えることができました。ありがとうございました。
- ・今日の新聞に新型インフルエンザワクチンの優先順位というのが出ていました。詳しくは本日のプログラムの小池先生にお願いします。

## 【幹事報告】 荒井幹事

- ・ガバナー事務所より
- 1) ガバナー月信9月号(全会員配布)
- 2) ガバナー事務所の職員変更と地区幹事・池澤 啓輔(高知西RC)の追加の連絡
- 3) 「ロータリーの友」インターネット速報』395

- ・地区国際奉仕・世界社会奉仕委員長よりキャンプメリーハートへの寄付のお願い

- ・岡内ガバナー、越智地区ロータリーの友地区委員より09-10年度地区クラブ雑誌委員会開催のお知らせとアンケート回答依頼

10月31日(土)13:00~16:00高知会館

講師:「ロータリーの友」編集長 二神 典子

- ・菊池RCより「クラブ現況及び活動計画書」拝受
- ・安芸RCより「09-10年度クラブ計画書」、週報拝受、例会変更案内
- ・宿毛RCより創立45周年記念夜間例会の案内 10月1日(木)秋沢ホテル
- ・幡多信用金庫より 9/5開催の第10回四万十川川柳全国大会 作品集





## ● 本日のプログラム

会員スピーチ 小池雄一会員

「新型インフルエンザについて」

・新型インフルエンザとは

2～3年前から新型インフルエンザは近い将来、必ず発生すると考えられていました。ここで重要なことは「新型インフルエンザには医学的見地からは全国民が100%罹患発症する」ということです。山奥などで特殊な生活をしている人以外、一般的な社会生活を営んでいる人は必ず罹るのです。昨年から噂のあった鳥インフルエンザN5H1は毒性が強いため「ばたばた人が死んでゆく恐怖のインフルエンザ」のイメージが、主にテレビを通して国民に植えつけられていました。そのため、新型インフルエンザが発生し始めた当初、国やマスコミのとった対応は、患者さんを隔離し、ヒステリックにその前の行動や接触者を洗い出すといったことでした。第一例の神戸の高校生はすでに回復にむかっているにも関わらず、隔離病棟に収容され、その足跡をテレビで大々的に報道されたのでした。

・現在の新型インフルエンザ対策の問題点

現在流行中の新型インフルエンザは豚インフルエンザ由来のN1H1です。新型インフルエンザが流行した場合、半年で人口の25～50%、数年内に100%、全国民が必ず罹患発症します。誰も逃れられません。（その後は例年のインフルエンザの流行と変わらなくなります）歴史上一番最近の新型インフルエンザの流行である



1957年のアジア風邪の時には、5月～7月の第一波で全国民の26%、9月～11月の第二波で30%と、半年で56%が罹患しました。小児では実に80～90%が罹患しました。問題となるのは、短期間にこうした新型インフルエンザの可能性のある患者さんたちが、限られた医療機関に殺到することです。新型インフルエンザに対するワクチンはまだできていません。インフルエンザ診断のための検査キットの数も全く足りない状態です。抗インフルエンザ薬（タミフル、リレンザ）もいつまでであるか予想できません。当初行われていた、感染拡大防止の対策はあまり意味がありませんでした。発熱外来などは、空間的、時間的、マンパワー的に一般診療所レベルでは不可能なことです。お上はせいぜい、マスク着用、うがいの励行、体調不良時の外出自粛等を指示すればよかったです。そして、その間に早急なワクチンの開発、診断用検査キットの増産、抗インフルエンザ薬の備蓄に努めることが大事だったの



です。新型インフルエンザの流行に対し我々医療側が求められる事は、大量に来院されたインフルエンザの可能性のある患者さんから、速やかにインフルエンザを診断確定し、適切な治療を行うことと、重症患者を選択して、必要に応じて高度医療施設へ搬送することなのです。「患者数が多い」ということ以外は、別に普段通りしていることと何かわりはありません。

#### ・新型インフルエンザは怖い

正直なところ現時点では全く分からないとしか言いようがありません。例年流行するインフルエンザでも、大半の患者さんは数日の治療で回復しますが、一部の患者さんは肺炎、脳炎などの合併症を引き起こし不幸の転帰をとることがあります。重要なことは新型インフルエンザに罹っても、その症状や予後は患者さんによってみんな違うということです。国民の多くが新型インフルエンザに罹患するのであれば、当然、より多くの重症例、死亡例が出る可能性があります。ちなみに専門家の予想する日本全国での新型インフルエンザによる死亡者数は12万人と考えられています。一般にインフルエンザで重症化しやすいのは、やはり乳幼児、高齢者、そして基礎疾患を有する方々です。私が心配なのは、中村における重症者の収容に限りがあることです。ひょっと、インフルエンザ脳炎の子供が何人も出て、病室が満床になる、などとい

う事はできれば想像もしたくないことです。10月には新型インフルエンザ用のワクチンが出回る予定です。当面は品薄になり、接種に関しては優先順位がつけられる模様ですが、可能な限り十分なワクチンが早急に入手できることを、今はただ切に祈るばかりです。

#### ・まとめ

1. 新型インフルエンザは近い将来、みんな罹る。
2. 感染拡大は阻止できない。
3. 重いか軽いかは分からない。ただし患者さん毎に症状はみんな違う。
4. 感染者が増えれば、重症者、死亡者も増える。
5. ワクチンは感染を防げる可能性が高い。
6. 健康ということを見直すいいチャンスかも。

#### 【会員発言】 池田会員

高知西南地域の公共交通を見直すため設立された高知西南地域公共交通協議会による、利用促進の実証実験が本年より3年間で実施されますが、その提案の一部として運賃値下げで、期間は9月1日より12月31日で実証実験を開始しました。乗って残そうの精神で、何卒ご支援ご協力をお願い申し上げます。(パンフレット配布)





【会長報告】 佐竹会長

クラブ細則第3条第1節により会長ノミニ-の立候補者を募ります。

今月中旬には指名委員会を設置し会長ノミニ-候補者を推挙する予定です。

【委員会報告】 福原社会奉仕委員長

・犬のフン害防止運動が7、9、11日に行われます。また、秋の全国交通安全運動期間中の25日に街頭活動への協力要請が来ています。それぞれに皆さんの協力をお願いします。

井上親睦委員長

・9月25日午後6:30より「厨房わかまつ」にて「歓迎会」を開催します。奮って出席を。

東ロータリー財団前委員長

前期の財団から報告します。08～09年のロータリー年度の寄付総額が、総計16,446ドルとなりました。これにより、「毎年あなたも100ドルを」クラブ(会員1人当たりの平均寄付額が米貨100ドルで100%の参加率を達成したクラブ)に初めて認証されました。また、「100%PHFクラブ」には、09年4月23日に正式に認証されました。さらに「100%『財団の友』クラブ」(会員全員が個人的に米貨100ドル以上を寄付したクラブ)にも初めて認証されました。「年次プログラム基金の一人当たりの寄付上位3クラブ」に選ばれ、中村RCは2670地区の第1位でした。4つのポイントで認証を受けたのは、会員の皆さんの協力の賜物。石井前会長が「認証ポイントを使ってPHFを増やそう」と提唱し、大杉前幹事の力強い後押しにより100%PHFクラブになりました。

【ニコニコ箱】

佐竹会長：浦田さん、ガバナー公式訪問に際し、昼夜の素晴らしい写真ありがとうございました。

田中会員：元会員市川さんが退会されて演台から花が消えて寂しくなりました。そこで一句、  
例会に 今なき匂い 四季の花

池田会員：お時間拝借、ありがとうございました。

浦田会員：先週の公式訪問、写真できました。

挽地会員：ロータリーの友8月号を読んで。

良かったと思われる記事 [横組 P16～P17]

飛躍的な会員増強をめざして・ロータリアンはなぜ例会に出席するのですか？

新入会員の小職からすると、全国のロータリーの置かれている現状がよく理解できたとともに一抹の不安を覚えました。会員増強を図ることは中村RCでも重要課題と認識しました。具体的な入会候補者を念頭に置きつつ、活動をしていきたいと思ひます。

【出席報告】

- ・会員総数/46名
- ・本日の出席/38名 84.44%
- ・先週の訂正 M5 80.00%→91.11%



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとたえることができます。